

【英語（リスニング）】作問のねらいとする資質・能力についてのイメージ（素案）

検討中

※試行調査の検証・分析の結果及び高等学校学習指導要領の見直しの内容等を踏まえ、更に整理する。

	A1	A2	B1	B2（参考）
（参考） CEFR 自己評価表	はっきりとゆっくりと話してもらえれば、自分、家族、すぐ周りの具体的なものに関する聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	（ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの）直接自分に関連した領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。	長い会話や講義を理解することができる。また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。たいていのテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。標準語が使われていれば、大多数の映画を理解できる。
国の指標形式の 主な目標	□挨拶や簡単な指示を聞いて理解することができるようにする。 □日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取ることができるようにする。 □ゆっくりはっきりと話されれば、身の回りの事柄に関する平易でごく短い会話や説明を、視覚情報などを参考にしながら理解することができるようにする。	□短い簡単なメッセージやアナウンスを聞いて、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 □身近な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。 □ゆっくりはっきりと話されれば、身近な事柄に関する短い説明の要点を理解することができるようにする。	□身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができるようにする。 □比較的ゆっくりはっきりと話されれば、時事問題や社会問題に関する短い平易な説明を聞いて、要点を理解することができるようにする。 □比較的ゆっくりはっきりと話されれば、馴染みのある話題を扱ったラジオ番組やテレビ番組を視聴して、要点を理解できるようにする。	□母語話者同士による多様な話題の長い会話を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。 □身近な話題に関する複雑な流れの議論を聞いて、話の展開を理解できるようにする。 □自然な速さで話される時事問題や社会問題に関する長い説明を聞いて、概要や要点を理解できるようにする。 □ある程度知識のある社会問題や時事問題に関するラジオ番組やテレビ番組を視聴して、概要や要点を理解できるようにする。
説明	①部分の把握 ※音声の部分を把握して解答する問題	○簡単なアナウンスや指示・説明からの情報の聞き取り・把握 ・店や公共交通機関など、日常生活における簡単なアナウンスや指示・説明を聞いて、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。	○身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する短い平易な説明からの情報の聞き取り・把握 ・身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する短い平易な説明を聞いて、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、複数の情報を比較して判断することができる。	○時事問題や社会問題に関する説明からの情報の聞き取り・把握 ・時事問題や社会問題に関する説明を聞いて、当該の話題に関するスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、エッセイライティングなどにおいて活用するために、必要な情報を把握することができる。 ○ある程度知識のある話題のメディアや講義等の情報の聞き取り・把握 ・ある程度知識のある話題を扱ったメディアや講義等の説明を聞いて、必要な情報を把握することができる。
	②全体の把握 ※音声の全体を把握して解答する問題	○挨拶や簡単な指示の聞き取り・把握 ・挨拶や簡単な指示を聞いて、話し手の意図を把握することができる。 ○身の回りの事柄に関する平易でごく短い説明の概要・要点把握 ・友人や家族、学校生活など、身の回りの事柄に関して平易な英語で話されるごく短い説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、概要や要点を把握することができる。	○個人的な事柄に関する短い簡単なメッセージの把握 ・友人からの招待など、個人的な事柄に関する短い簡単なメッセージを聞いて、話し手の意図を把握することができる。 ○身近な話題に関する平易で短い説明の概要・要点把握 ・友人や家族、学校生活など、身近な話題に関する平易で短い説明を聞き取り、概要や要点を把握することができる。	○時事問題や社会問題に関する説明の概要・要点把握 ・時事問題や社会問題に関する説明を聞いて、当該の話題に関するスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、エッセイライティングなどにおいて活用するために、概要や要点を把握することができる。 ○ある程度知識のある話題のメディアや講義等の概要・要点把握 ・ある程度知識のある話題を扱ったメディアや講義等の説明を聞いて、得た情報を他者に口頭で伝えるために、概要・要点を把握することができる。
会話・議論	①部分の把握 ※音声の部分を把握して解答する問題	○身の回りの事柄に関する平易で短い会話における必要な情報の聞き取り・把握 ・友人や家族、学校生活など、身の回りの事柄に関して平易な英語で話されるごく短い会話を、場面の情報などを参考にしながら聞いて、必要な情報を把握することができる。	○身近な話題に関する平易で短い会話における必要な情報の聞き取り・把握 ・友人や家族、学校生活など、身近な話題に関する平易で短い会話を聞いて、場面の情報などを参考にしながら必要な情報を把握することができる。	○多様な話題の長い会話における必要な情報の聞き取り・把握 ・多様な話題の長い会話を聞いて、必要な情報を把握することができる。 ○複雑な議論における必要な情報の聞き取り・把握 ・身近な話題に関する複雑な流れの議論を聞いて、必要な情報を把握することができる。
	②全体の把握 ※音声の全体を把握して解答する問題	○身の回りの事柄に関する平易で短い会話における概要・要点 ・友人や家族、学校生活など、身の回りの事柄に関して平易な英語で話されるごく短い会話を、場面の情報などを参考にしながら聞いて、概要や要点を目的に応じて把握することができる。	○身近な話題に関する平易で短い会話の概要・要点把握 ・友人や家族、学校生活など、身近な話題に関する平易で短い会話を聞いて、概要や要点を目的に応じて把握することができる。	○多様な話題の長い会話の概要・要点把握 ・多様な話題の長い会話を聞いて、話題とそれに対する各話者の発話の要点を把握することができる。 ○複雑な議論における話の展開や論点の把握 ・身近な話題に関する複雑な流れの議論を聞いて、話の展開を把握するとともに、各話者の主要な論点を整理して比較することができる。

○作問にあたっては、次の「言語の使用場面」及び「言語の働き」の例を参考にする。

【言語の使用場面の例】

〈特有の表現がよく使われる場面〉・買い物 ・旅行 ・食事 ・電話での応答 ・手紙や電子メールのやりとり など
 〈生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面〉・家庭での生活 ・学校での学習や活動 ・地域での活動 ・職場での活動 など
 〈多様な手段を通じて情報などを得る場面〉・本、新聞、雑誌などを読むこと ・テレビや映画などを観ること ・情報通信ネットワークを活用し情報を得ること など

【言語の働きの例】

〈コミュニケーションを円滑にする〉・相づちを打つ ・聞き直す ・繰り返す ・言い換える ・話題を進展させる ・話題を変える など
 〈気持ちを伝える〉・褒める ・謝る ・感謝する ・望む ・驚く ・心配する など
 〈情報を伝える〉・説明する ・報告する ・描写する ・理由を述べる ・要約する ・訂正する など
 〈考えや意図を伝える〉・申し出る ・賛成する ・反対する ・主張する ・推論する ・仮定する など
 〈相手の行動を促す〉・依頼する ・誘う ・許可する ・助言する ・命令する ・注意を引く など